

令和6年度第1回大分県ツーリズム戦略推進会議

日時：令和6年5月16日（木）

15：00～16：30

場所：大分商工会議所5階中ホール

〈次 第〉

- 1 開会
- 2 知事 あいさつ（大分県知事 佐藤 樹一郎）
- 3 委員長 あいさつ
- 4 議事
（1）次期ツーリズム戦略について
- 5 報告
（1）福岡・大分DCのオープニング等について
- 6 閉会

令和6年度第1回大分県ツーリズム戦略推進会議 委員名簿

(敬称略 五十音順)

| 氏名 | 企業・所属団体／役職 | 出欠 |
|---------------|-----------------------------------|----|
| 麻生 くみ | 株式会社翼 (caffel ひなのさと) 代表取締役社長 | ○ |
| 飯倉 里美 | 株式会社みょうばん湯の里 代表取締役 | ○ |
| 釘宮 浩三 | 社会福祉法人博愛会 住吉浜リゾートパーク 園長 | ○ |
| 久保 隆行 | 立命館アジア太平洋大学 サステイナビリティ観光学部 副学部長 | ○ |
| 桑野 和泉 | 株式会社玉の湯 代表取締役社長 | ○ |
| 佐野 真紀子 | 株式会社日本政策投資銀行 大分事務所 所長 | ○ |
| 千壽 智明 | 合資会社海地獄 代表社員 | ○ |
| 高寄 和弘 | 一般社団法人大分県バス協会 会長 | ○ |
| 田口 永依子 | 有限会社やせうま本舗 田口菓子舗 専務取締役 | ○ |
| ダヴィデ ザナルディ | ANAインターコンチネンタル別府リゾート&スパ 総支配人 | — |
| 西田 陽一 | 大分県旅館ホテル生活衛生同業組合 組合長 | ○ |
| 二宮 謙児 | 有限会社山城屋 代表取締役 | ○ |
| 橋本 均 | 株式会社マリーンパレス 代表取締役社長 | ○ |
| 久野 和代 | 九州旅客鉄道株式会社 執行役員大分支社長 | ○ |
| 廣原 武史 | 株式会社JTB 大分支店長 | ○ |
| 福田 まや | 星庭 代表 | ○ |
| 古田 浅男 | (一財) 観光まちづくり佐伯 事業推進部 事業推進課長 | ○ |
| 森藤 麻記 | (一財) TAO文化振興財団 専務理事 | ○ |
| 和田 久継 | 公益社団法人ツーリズムおおいた 会長 | ○ |

○：出席

—：欠席

令和6年度第1回 大分県ツーリズム戦略推進会議

日時: 令和6年5月16日(木)15時00分～
会場: 大分商工会議所 5階中ホール



日本一のおんせん県おおいた  みりよく 味力も満載

大分県商工観光労働部
観光局 観光政策課

1 ツーリズム戦略とは

1 ツーリズム戦略とは

名称

「日本一のおんせん県おおいたツーリズム戦略」

目的

県民との協働で観光による活力ある大分県づくりを目指すために策定するもの

戦略の位置づけ

「長期総合計画のアクションプラン」かつ「条例に定める観光振興基本計画」

- ・長期総合計画：安心・活力・発展プラン2015（10年計画）
- ・条例：おんせん県おおいた観光振興条例（H27.3策定）

経過

第1期・・・H25（2013）～H27（2015）

第2期・・・H28（2016）～H30（2018）

第3期・・・H31（2019）～ R3（2021）

【現行】第4期・・・ R4（2022）～ R6（2024）

【次期】第5期・・・ R7（2025）～ R9（2027）

直近の現状・課題を分析し、
時代の潮流を的確に捉えた戦略を構築するため、
3年毎に戦略の見直しを実施

参考：現行戦略 構成

1. ツーリズム戦略の趣旨
目的、位置づけ
2. 第3期の振り返り
3. 第4期の方向性
 - (1) 推進指針と3年後のすがた
 - (2) 取り組むべき課題
 - (3) 数値目標
4. 第4期取組項目
 - (1) 地域素材の磨き上げ
 - (2) “おおいた”の魅力向上と効果的な情報発信
 - (3) ポストコロナ時代に向けた戦略的な誘客
 - (4) 多様化する旅行ニーズに対応する受入環境の整備
 - (5) DX導入や観光人材の確保・育成等による観光産業の振興



1 ツーリズム戦略とは



目標・実績

【第1期・第2期】

| 第1期・第2期 成果指標 | 第1期目標値 (2015年 H27) | 第1期実績値 (2015年 H27) | 第1期達成率 | 第2期目標値 (2018年 H30) | 第2期実績値 (2018年 H30) | 第2期達成率 |
|-----------------|-----------------------|-----------------------|--------|-----------------------|-----------------------|--------|
| 観光入込客数 | 19,000千人 | 22,869千人 | 120.4% | 20,150千人 | 20,479千人 | 101.7% |
| 県内宿泊客数 | 5,200千人 | 7,388千人 | 142.1% | 7,050千人 | 7,774千人 | 110.3% |
| うち外国人宿泊者数 | 390千人 | 774千人 | 198.5% | 960千人 | 1,442千人 | 150.3% |
| 観光消費額 | - | 2,146億円 | - | 2,357億円 | 2,271億円 | 96.4% |
| ホームページ訪問回数 | - | 183万回 | - | 200万回 | 135万回 | 67.5% |

【第3期】

| 第3期 成果指標 | 目標値 (2021年 R3) | 実績値 ※1 (2019年 R1) | 達成率 |
|-------------|-------------------|----------------------|--------|
| 観光入込客数 | 20,400千人 | 19,585千人 | 96.1% |
| 県内宿泊客数 | 7,590千人 | 7,903千人 | 104.2% |
| うち外国人宿泊客数 | 1,630千人 | 1,207千人 | 74.1% |
| 欧米・大洋州 | 40千人 | 64千人 | 160.0% |
| 韓国 | 715千人 | 411千人 | 57.5% |
| 中国・香港 | 250千人 | 200千人 | 80.0% |
| 台湾 | 177千人 | 145千人 | 82.0% |
| ASEAN | 50千人 | 51千人 | 102.0% |

【第4期】(途中経過)

| 第4期 成果指標 | 目標値 (2024年 R6) | 実績値 ※2 (2023年 R5) | 達成率 | 2022年 (R4) |
|-------------|-------------------|----------------------|-------|---------------|
| 観光入込客数 | 20,950千人 | 集計中 | - | 15,149千人 |
| 県内宿泊客数 | 7,830千人 | 7,540千人 | 96.2% | 6,302千人 |
| 観光消費額 | 2,600億円 | 集計中 | - | 1,924億円 |

※2 R4は新型コロナウイルスの影響があるため、途中経過としてR5年を参考実績値として記載

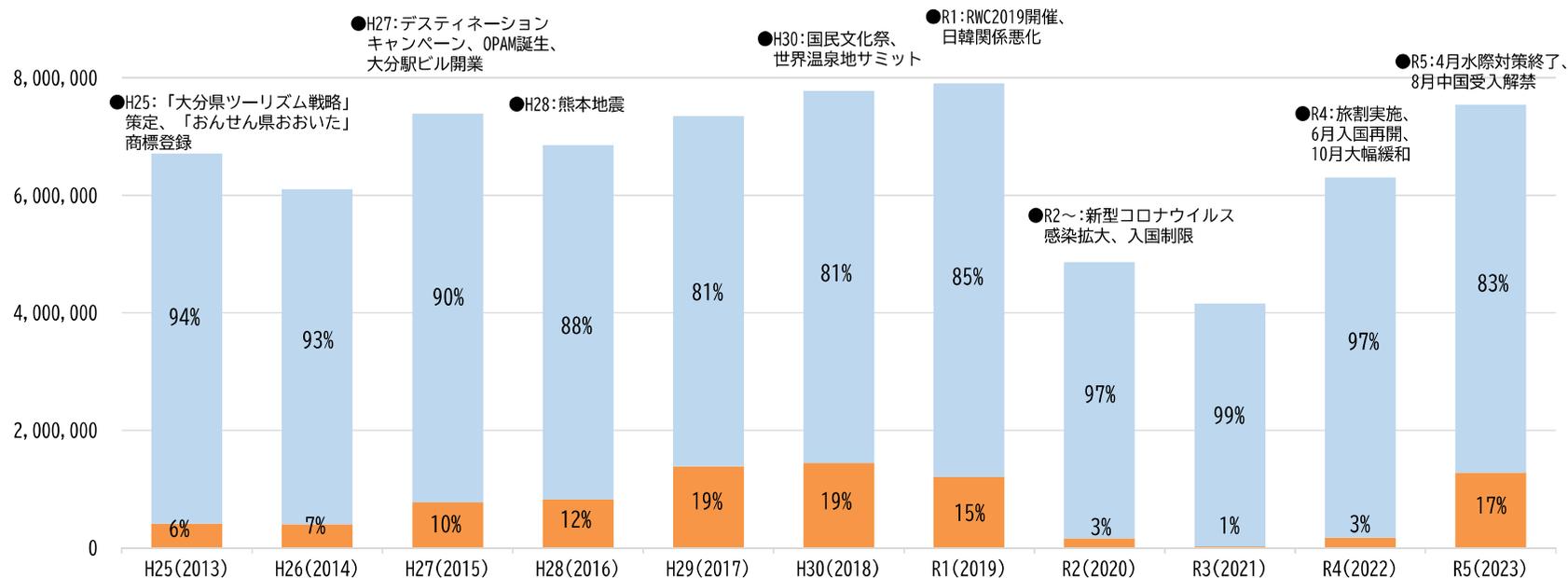
※1 R2、R3は新型コロナウイルスの影響が大きく参考にならないため、R1年を参考実績値として記載

2 現状と課題

2 現状と課題



【宿泊者数の推移】(観光庁 宿泊旅行統計調査) (単位：人)

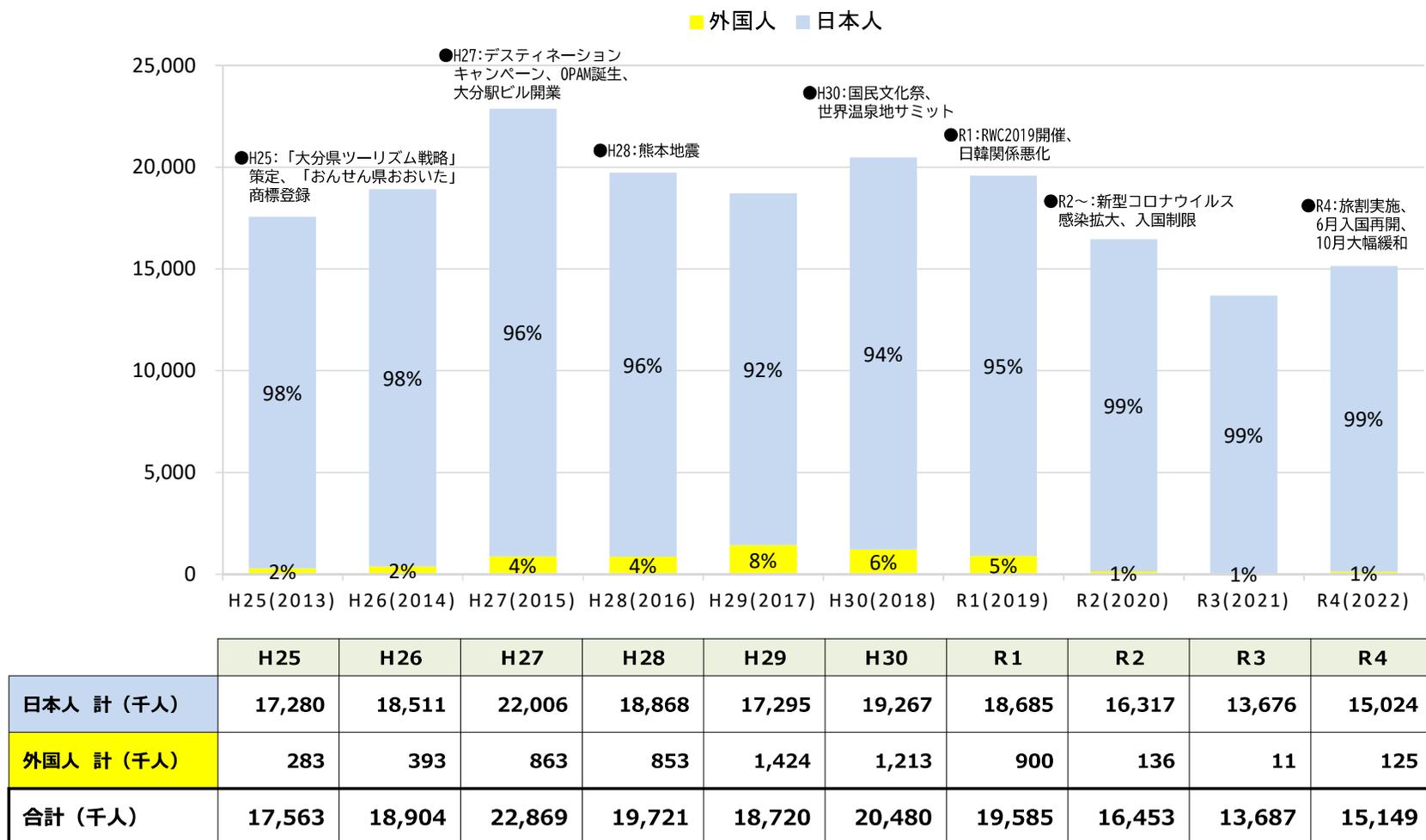


| | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 (速報) |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|
| 日本人延べ宿泊客数 (千人) | 6,301 | 5,701 | 6,614 | 6,025 | 5,963 | 6,332 | 6,696 | 4,698 | 4,135 | 6,132 | 6,259 |
| 外国人延べ宿泊客数 (千人) | 410 | 400 | 774 | 827 | 1,387 | 1,442 | 1,207 | 162 | 25 | 170 | 1,281 |
| 合計 (千人) | 6,711 | 6,101 | 7,388 | 6,852 | 7,350 | 7,774 | 7,903 | 4,860 | 4,160 | 6,302 | 7,540 |

2 現状と課題



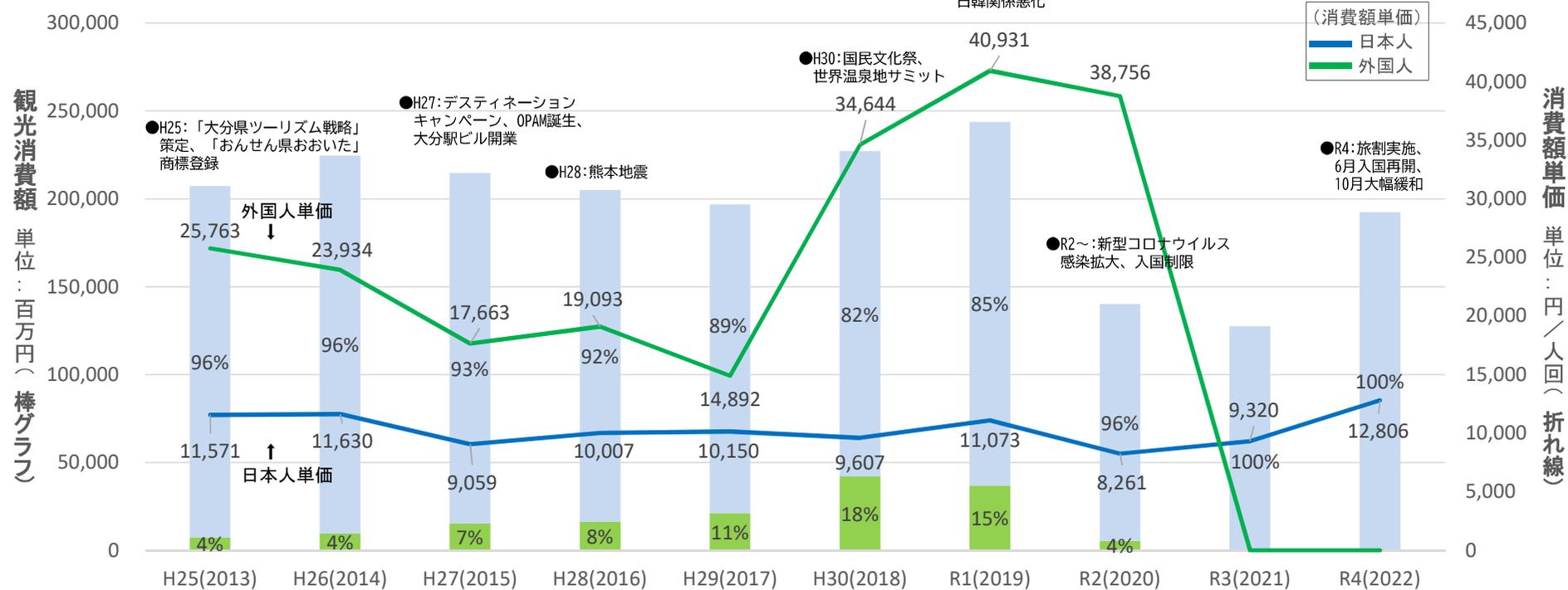
【観光入込客数の推移】（観光庁 共通基準による観光入込客統計）（単位：千人）



2 現状と課題



【観光消費額の推移】（観光庁 共通基準による観光入込客統計）



| | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 日本人 (百万円) | 199,941 | 215,290 | 199,360 | 188,812 | 175,555 | 185,093 | 206,912 | 134,795 | 127,470 | 192,403 |
| 外国人 (百万円) | 7,291 | 9,406 | 15,243 | 16,286 | 21,209 | 42,012 | 36,832 | 5,273 | サンプル無し | |
| 合計 (百万円) | 207,232 | 224,696 | 214,603 | 205,098 | 196,765 | 227,105 | 243,743 | 140,068 | 127,470 | 192,403 |

2 現状と課題



第4期の振り返り

【2022年（R4）】

- ・ロシアによるウクライナ侵攻を契機とした物価の上昇（2月以降） → 期を同じくして円安の加速
- ・県民割（新しいおおいた旅割）並びに全国旅行支援（新しいおおいた旅割第2弾）の実施（県民割：10月まで。全国旅行支援：10月から）
- ・水際対策の段階的見直し（6月）～入国者数の上限の撤廃と個人旅行者の入国許可（10月）

【2023年（R5）】

- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行（5月：GW後）
- ・DCに向けての準備（全国宣伝販売促進会議、ツーリズム商談会の開催、商談会・イベントへの出展、おもてなしの推進等）
- ・4年ぶりに大分と韓国を結ぶ定期航空便の再開（6月）
- ・コロナ関連融資の返済が本格化（夏頃）
- ・「新しいおおいた旅割第2弾」（10月末まで）並びに「おおいた旅得キャンペーン」（12月から）の実施
- ・水際対策の終了（4月）、中国人受入解禁（8月）

【2024年（R6）】

- ・「おおいた旅得キャンペーン」（2月まで）の実施
- ・4月～6月 福岡・大分デスティネーションキャンペーンの開催
- ・大分と韓国を結ぶ定期航空便の増便や新規就航などによる、インバウンドを中心とした県内観光客の増加

2 現状と課題



大分県観光の現状

- **アフターコロナ並びに円安進行によるインバウンドを中心とした観光客の急増**（令和5年延べ宿泊者数：対前年比+21.1%）
- **“モノ消費”から“コト消費”への移行**（地域独自の体験コンテンツづくりの重要性）
- **特定の地域におけるオーバーツーリズムの発生**（マナー啓発や観光客の分散化等が必要）
- **大型キャンペーンなどによる大分観光に対する機運の高まり**（おんせん県おおいたの認知度向上）
- **観光関連事業者における人手不足**（受入体制の充実が必要）

取り組むべき課題

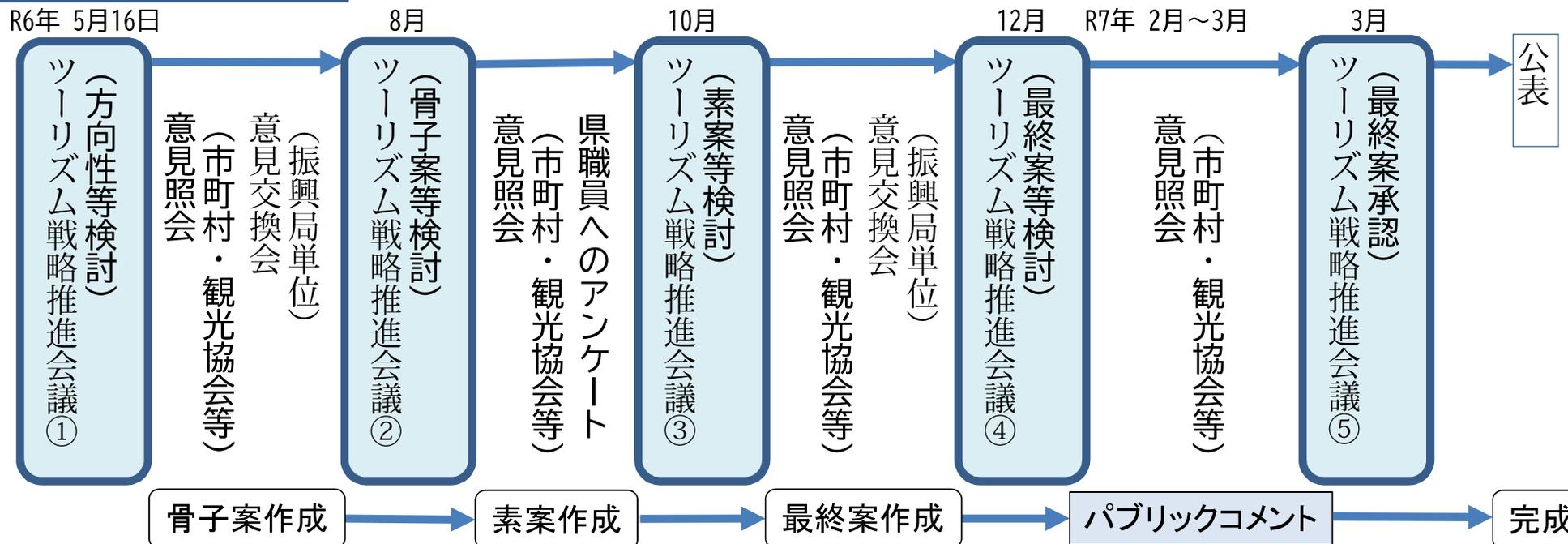
- **急激に変化する外的要因（為替変動、感染症、自然災害など）に対し、しなやかで強固な観光産業の構築**
- **地域の環境や社会、経済等への影響を十分に考慮した持続可能な観光の推進**
 - ・アドベンチャーツーリズム等を活かしたコンテンツづくり等による地方部への誘客促進
 - ・オーバーツーリズム対策等による「住んでよし、訪れてよし」の持続可能な観光地域づくり
 - ・幅広い観光関連産業の消費額増加による地域経済の活性化 など
- **大分県を再訪したくなる魅力づくりやインバウンド誘客の促進**
 - ・リピーターやインバウンド観光客の旅行意欲を喚起する、おもてなしや高付加価値観光素材の磨き上げ、情報発信
 - ・増加傾向にある欧米豪市場への対策強化、広域連携等による誘客促進
 - ・大阪・関西万博を契機とした誘客促進 など
- **観光に携わる人材の確保・育成や先端技術の活用など受入体制の充実**
 - ・国内外の関係機関との連携強化、デジタルデバイス等による小規模事業者の業務効率化、キャッシュレス決済サービスの拡充 など
- **ツーリズム基盤の強化**
 - ・観光地経営の促進に向けた県内DMOとの連携強化 など

3 戦略の改定に向けて

3 戦略の改定に向けて



主なスケジュール



改定に向けた主な取り組み

- 観光関係事業者等への意見照会 → アンケートの実施 (QRコード提示)
- 地域 (振興局) 単位での意見交換会、市町村・観光協会等への意見照会 → より地域の声や姿を戦略に反映
- 各部局、振興局、県外事務所からの幅広い意見聴取 → 幅広い観点からの意見集約

福岡・大分デスティネーションキャンペーン オープニング等について



観光誘致促進室

1. オープニングイベントの開催

(1)大分駅オープニングイベント「湯ったりおおいた満喫フェスタ」

日程 4月6日(土) 10:00~17:00、4月7日(日) 10:00~17:00

場所 JR大分駅前広場

内容 ・主催者挨拶、団体臨時列車ツアーのお出迎え(4/6)

※団体臨時列車客数 264名、お出迎え 290名(県内18市町村など)

・ステージイベント(吹奏楽、書道パフォーマンス、ゲストによるトークショーなど)

・県内宿泊施設の宿泊券などが当たる抽選会(4/6)

・ブース出展 飲食ブース(キッチンカー、酒造組合等12店舗)

イベントブース(車掌等の制服試着や高所作業車の体験 等)



(2)博多駅オープニングセレモニー

①セレモニー

日程 4月6日(土) 12:15~13:15

場所 JR博多駅前広場

内容 主催者挨拶、鏡開き、トークセッション

②イベント

日程 4月6日(土) 13:30~18:00

4月7日(日) 10:00~16:00

ステージイベント(観光PR等)、飲食ブース 等

※大分県内4市がステージイベント参加、6店舗がブース出展



2. その他の取組 (DC期間の経済波及効果 目標値 大分県120億円、福岡県230億円 計350億円)

(1)イベント等

①OITA CULTURAL EXPO!'24

4/28(日) いいやん!おおいた(大分市広報番組)でYottaを紹介

②満喫ぐるっと大分バスの旅(周遊バス)

4/23(火) おはようナイスキャッチ(OBS)、

4/27(土) かぼすタイム(OBS)でツアーを紹介

③地域でのDC特別企画

・「やばはく2024」(3/1~6/30)

・ひたひこ沿線酒蔵巡り~BRTに乗ってほろ酔い旅~(4/6, 14, 28)

・安心院葡萄酒工房見学とフルコースが楽しめるバスツアー(6/14, 21)等

(2)JR九州との連携

①かんぱち・いちろく号(4月26日 運行開始)

・県内は、恵良駅(かんぱち号 博多→別府)、天ヶ瀬駅(いちろく号 別府→博多)でもおもてなしを実施。車内では、県内酒造会社のオリジナル日本酒を提供。

・1号車は大分県産の杉を使用し、大分をモチーフにデザイン

・2号車ラウンジのカウンターに日田杉の一枚板を使用

②オフロウ! 歩いて楽しむ福岡・大分観光キャンペーン(4/1~9/30)

~福岡・大分DCの効果最大化と継続に向けたキャンペーン~

・福岡・大分両県内の特急、普通列車等により降り自由なフリー切符を発売

・デジタルスタンプラリーの実施 等